

フォトリックネットワーク研究会 (PN研)

PN研は、

- フォトリックインターネット構築の実現化を目指した研究からフォトリックネットワークの将来像のあり方、極限的ポテンシャルの追求にいたるまで、**多面的な視点でフォトリックネットワークの創造**をめざします。
- 日本での国際学会の開催、本学会大会、研究会、学会誌での様々な企画等により啓蒙活動を行い、この分野の発展を図ります。これらの活動では、**技術の議論に留まることなく、サービスやユーザのメリット、社会インパクトも考慮して議論を行える場**を提供することを意識しています。また、日本発の標準化活動の母体となることも視野に入れて活動を進めます。

研究分野

フォトリックネットワークに関する基礎から応用まで幅広い技術分野 —デバイスからシステム、ネットワーク、アプリケーション—

- 光デバイス技術
- 光デバイスに適した材料や新しい現象
- 光プロセッシング用デバイス技術
- 光ノード処理技術
- パケットスイッチ技術
- 光バースト技術
- 光ノード構成技術
- フォトリックIPネットワークアーキテクチャ
- フォトリックIP ネットワーク技術
- フォトリックネットワーク制御技術
- フォトリックネットワークにおけるトラヒックエンジニアリング技術
- フォトリックネットワークオペレーション技術
- フォトリックバーチャルパス技術
- 光アクセス技術
- フォトリックネットワークテストベッド
- フォトリックネットワーク上の高速通信技術
- 高速・広帯域ネットワークサービス/アプリケーション
- ポストIPネットワーク
- 可視光通信技術

研究会スケジュール

専門委員長	中野 義昭 (東大)
副委員長	村田 正幸 (阪大)、 岡本 聡 (慶大)
幹事	中村 元 (KDDI研)、 和田 尚也 (NICT)
幹事補佐	大柴 小枝子 (京都工繊大)、 大木 英司 (電通大)、 種村 拓夫 (東大)

2008年6月12日(木) - 6月13日(金) 千歳科学技術大学

フォトニックネットワーク／制御, 光制御 (波長変換・スイッチング等), 光波／量子通信, GMPLS, アクセス網技術, 一般

2008年8月8日(金) 朝里クラッセホテル (小樽市)

フォトニックネットワーク, 一般, ワークショップ

2008年10月9日(木) - 10月10日(金) 東京大学(駒場)

IPバックボーンネットワーク, MPLS, GMPLS, フォトニックネットワーク, トラヒック制御・解析および一般

2008年12月18日(木) - 12月19日(金) 神戸大学

フォトニックネットワークシステム, 光ルーティング, フロッドバンドアプリケーション, 一般

2009年1月29日(木) - 1月30日(金) 京都工芸繊維大学

フォトニックNW・デバイス, フォトニック結晶・ファイバとその応用, 光集積回路, 光導波路素子, 光スイッチング, 導波路解析, 及び一般

2009年3月

フォトニックネットワーク関連技術, 一般

チュートリアル講演会

2006年2月

光パケットスイッチング技術、
フォトリックネットワーク制御技術

2007年1月

シリコンフォトニクス基礎と応用、
光遅延線技術・スローライト

2007年4月

NGN (Next Generation Network) 技術、
FTTH (Fiber To The Home) 技術

2007年12月

Packet Transport Trends、
超高速光通信デバイスの動作速度と消費電力概論

2008年5月

100G/40Gイーサネットの標準化動向、
光デバイスの高速化動向

2008年11月21日 (金) 14:00~17:00、SCAT5階会議室 (東京、新宿)

「直接変調による高速長距離変調技術」松井康浩氏 (Finisar Corporation Optics)

「超高速光制御デバイス」荒川太郎氏 (横浜国立大学)

参加費無料(テキスト代 別途 3,000円)、詳細はPN研ホームページにて。

* PN研究会チュートリアル講演はPN超高速フォトリックネットワーク開発推進協議会(PIF)との共同開催です。

PN研究賞およびPN若手研究賞

- **目的**

PN研究賞については、フォトニックネットワーク分野の研究の発展に対する貢献を称えるとともに、研究会活動の活性化を促す。また、PN若手研究賞については、将来のフォトニックネットワーク分野を担う研究者を育成する一助とする。

- **審査対象**

研究内容。若手研究賞についてはプレゼンテーション評価を加味する。なお、若手研究賞の対象者は発表時において30歳未満とする。

- **対象となる発表**

1月の研究会から12月の研究会までの一般講演（招待講演及びチュートリアル講演を除く）。

- **表彰**

3月に開催される研究会において、研究賞については、著者全員を対象として、賞状及び盾を贈呈する。若手研究賞については、発表者を対象として、賞状及び図書カードを贈呈する。